



平成 27 年 11 月の園だより



人形劇観劇（もも組～白組）
12日(木)10:00～

人形劇団『バク』の皆さんによる人形劇を観ます。お話は“ねずみのよめいり”。子どもたちも知っている昔話です。

七五三パーティー
9日(月)



3歳、5歳、7歳は子どもの成長の節目といわれますが、そのときを健やかに過ごせたことを喜び、お祝いをする行事が「七五三」です。千歳飴は江戸時代に江戸の浅草の飴屋が考案し、長生きするようにという意味で細長くつくられているそうです。

保育園では、“たくさんの人に見守られて大きくなった”ことへの感謝の思いと“みんながいつまでも元気で幸せに”という願いをこめて、ビュッフェスタイルでの給食をいただき、お祝いします。



勤労感謝の日
11月23日

勤労感謝の日は、昭和23年に「勤労を尊び、生産を祝い、国民がお互いに感謝し合う日」として制定されました。よりよい社会を実現するためには、人間はお互いの勤労によって生活していること、お互いに感謝し合わなければいけないということを知らせて、子どもたちにも、小さいながらもお手伝いをしようという意欲を持たせることが大切です。

一粒のご飯、一本の鉛筆、一枚の紙も、みんな人間の尊い勤労によってつくられたものです。汗を流して働くことが、人間にとって幸せなことだということを伝え、ものを大切に扱う心を養っていきたいと思っています。

「見て、触れて、やってみたくなる環境」

先日のみみょうフェスティバル（作品展・バザー）では、準備はもとより、当日のお手伝い、後片付けに至るまで、いろいろとご協力をいただきありがとうございました。おかげさまで、暑いくらいの陽気の中、多くの方にご来場いただき、トラブルもなく終えることができました。ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、子どもたちの作品、絵画をご覧になっていかがでしたでしょうか。どこの保育園でもそうでしたが、子どもたちの作品や絵画に職員が口や手を加えながら見栄えのよい展示をしてきた時代があります。しかし、みみょうでは、かなり以前より、見栄えといった成果よりも子どもの努力や工夫、発想などの過程を重視する展示に変えてきました。従って、見ていただくだけの華やかな展示ではなく、子どもたちや保護者の皆さんが一緒になって楽しめる楽しい空間、そして日頃の楽しい保育が垣間見ていただけるような展示になっていたのではないかと思います。

特に、今年は、世界的に注目されているイタリアの幼児教育「レッジョ・エミリア・アプローチ（子どもと大人の双方が創造性を発揮し、美的で探究的な活動を通して共に学び、育ち合うかかわり）を保育の参考にしていきますので、子どもたちの創造性が十分に発揮された作品展になったのではないかと思います。因みに、レッジョ・エミリアの教育理念とは、「子どもには百とおりある。子どもには 百のことば 百の手 百の考え 百の考え方 遊び方や話し方 百いつでも百の 聞き方 驚き方、愛し方 歌ったり、理解するのに 百の喜び 発見するのに 百の世界 発明するのに 百の世界 夢見るのに 百の世界がある。…（一部抜粋）」であり、☆子どもの一人ひとりの個性を尊重する。☆アートの創造的体験によって子どもの創造性を最大限引き出すことが特徴となります。

子どもの個性を尊重する。☆アートの創造的体験によって子どもの創造性を最大限引き出すことが特徴となります。

子どもたちは、日頃より、OHPを使って光と影の対比である影遊びをしたり、ライティングテーブル（テーブルの中央がすりガラス状になっており下から光源をあてる）で素材の光と影と色で刺激を覚えたり、三角形に3枚合わせた鏡の中で遊んで万華鏡の中にいる感じを味わったり、絵を描く場合もアイデアや創造性を重視したり、香りからイメージを膨らませたり、様々な素材の感触を五感で味わったりするなど、子ども同士、さらには保育者も含めて、学びの共同体として、考え刺激し合いながらテーマやプロジェクトを決めて活動しています。その延長線上に、このたびの作品展がありました。一つのテーマを長い場合は、数カ月から1年といった長期間続く場合もあります。光と影のテーマについては、6月から取り組み始めましたのもう4か月が過ぎようとしています。未だに子どもたちは様々な素材を見つけてきてはOHPやライティングテーブルを使って素材の持ち味を楽しんでいます。

みみょうでは、引き続き、「レッジョ・エミリア・アプローチ」を実践することで、達成感や満足感を味わい自己肯定感を育むとともに、見て・触れて・やってみたくなる環境を構成することによって、積極的に物事にかかわろうとする気持ちを育ててまいります。

むすびに、このたびの作品展は、子どもたちが主体の素晴らしい作品展示の数々であったと思います。ご家庭におかれましては、しっかりと誉めていただき、自己肯定感を育てるとともに、個性と創造性をさらに伸ばしてほしいと思います。



人間にとって最も大切な自己肯定感をダイレクトに育てる言葉です。

「ありがとう」は、最高のほめ言葉。



“子育てハッピーアドバイス”
明橋大二著 より抜粋

何気なくしたことでも、「ありがとう」と言われると、とても心がほんわかします。忙しい日常のなかでも、ささいなことに気づき、たくさんありがとうが言えるといいですね。

段原みみょうフェスティバル

日時：11月8日(日)
10:00～14:00
場所：みみょう幼稚園
段原みみょう保育園
グループ園の作品展・バザーです。
みなさんぜひお出かけください!

ちいさな火が、おおきな火に!



広島市南消防署
警防課 救助係